

各 位

2025 年 11 月 20 日
株式会社 G S I クレオス
経営企画部 企画広報課

台湾・台北市に現地法人を設立

株式会社 G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永 直明、以下 当社）は、グループでグローバルに展開する半導体関連事業およびケミカル事業のさらなる強化・拡大を目的として、このたび台湾・台北市に現地法人を設立し、2026 年 1 月より事業活動を開始いたします。

【現地法人の概要】

- (1) 名 称 : 台湾科立思股份有限公司（G S I 台湾社）
- (2) 所在地 : 台北市大安區忠孝東路四段 285 號 5 樓
- (3) 代表者 : Megan Yeh
- (4) 設 立 : 2026 年 1 月
- (5) 資本金 : 2,000 万台湾ドル（約 1 億円）
- (6) 出資者 : G S I クレオス（日本）100%

【台湾市場の魅力】

世界の半導体市場規模は、現在の 6,230 億米ドルから 2035 年までに 1 兆 740 億米ドルに達すると予測されています。その成長を牽引しているのが、ファウンドリー最大手である台湾の TSMC 社であり、世界最先端半導体を製造できる唯一無二の企業となっています。また、台湾は豊かな製造業の歴史を背景に、高度なエレクトロニクス、自動車部品、精密機械などの分野で国際的に高く評価され、アジアの主要市場への地理的利便性も高いことから、アジアの成長市場の中でも特に安定したビジネス環境を有し、多くの多国籍企業の進出先として選ばれているとともに、サプライチェーンの重要なハブとして機能しています。特にファウンドリー半導体製造においては世界市場の 60%以上の生産力を有し、TSMC 社をはじめとする多数の関連企業が集積し、堅牢なサプライチェーンを構築しています。また、台湾では製造業の発展に伴い化学品の需要も高まっており、電子材料用コーティングを中心としたスペシャルティケミカル市場としても、一定の規模と戦略的価値を有しています。

【設立の背景】

当社は 2025 年度を初年度とする中期経営計画“GSI CONNECT Phase 2”においても工業製品事業を「成長ドライバー」と位置づけ、集中的に投資を行う方針を掲げております。中でも半導体関連事業とケミカル事業は最も成長を見込む注力分野です。半導体関連事業においては、これまで日・米・中の 3 拠点の連携によりビジネスを展開してまいりましたが、昨今の米中対立や中国の景気停滞、米国の関税措置などにより不安定な事業環境が続いており、新たな市場開拓が急務となっております。また、ケミカル事業に

においては、長年にわたり日本主導の営業体制にて台湾での事業展開を進めてまいりましたが、今後のさらなる事業拡大のためには、現地人材の営業力を活かしたサービス提供や取り扱い商材の拡充、新規顧客の開拓に向けた、現地主導の営業体制の確立が必須となります。

このような状況下、当社グループが半導体関連事業の安定的な収益基盤を確保し、競争力を高めていくためには、TSMC 社を擁し世界をリードする台湾でのビジネス展開が不可欠であり、またケミカル事業のさらなる成長を実現するためにも、台湾に拠点を構えることが最善であると判断し、このたび現地法人を設立することといたしました。

【今後の事業展開】

今後は、台湾法人を通じて地場のビジネスに参入し、半導体関連およびケミカル製品の販売拡大を図るとともに、グループのネットワークを活用した新たなバリューチェーンの構築により、グローバルな成長戦略を加速してまいります。

一 半導体関連事業

現地の半導体部材メーカーへの出資や協業、日本への誘致を推進するとともに、グループの拠点を活用した台湾製品の日本、米国、EUへの輸出販売を目指します。また、既存ビジネスの台湾での展開も模索していきます。

一 ケミカル事業

台湾法人を起点に現地での営業力を強化し、グループが取り扱う日・米・欧・中製のスペシャルティケミカル原材料を、台湾のコーティング剤・接着剤メーカー等に直接販売していきます。また、既存のディストリビューターを通じたビジネスにおいても、現地法人に統括・在庫管理機能を持たせることで、物流・信用・営業機能の効率化を図ります。加えて、グループの各国拠点で展開可能な台湾製品の発掘、輸出支援も積極的に行っていく方針です。

以上

参考：[半導体市場 | 市場規模 シェア 分析 成長性 2035年【市場調査レポート】](#)

【G S I クレオスとは】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 25 の事業拠点をもち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使して幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel 03-5418-2122